

第14回 岐阜県新型コロナウイルス感染症 教育推進協議会 議事要旨

日 時	令和3年9月8日（水） 16:00～17:10
場 所	県庁4階 特別会議室
出席者	<p><委員> 15名 松川 禮子 委員、益子 典文 委員、堀 貴雄 委員、水川 和彦 委員、 名取 康夫 委員、石田 達也 委員、高橋 清仁 委員、服部 照 委員、 下屋 浩実 委員、加納 顯 委員、河合 直樹 委員、青山 節児 委員、 木野 隆之 委員、村上 啓雄 委員、竹内 治彦 委員 （青山委員、木野委員はWeb会議システムで参加）</p> <p><県> 知事、平木副知事、河合副知事、教育長（委員） 環境生活部長、子ども・女性局長、私学振興・青少年課長 副教育長、教育次長、義務教育総括監、教育総務課長 他</p>
議題	<p>議題1 県内及び学校における感染状況について 議題2 対面授業の再開に向けた取組について 議題3 学校における感染防止対策について 議題4 学校で児童生徒等や教職員の新型コロナウイルスの感染が確認された場合の対応ガイドラインについて</p>
配布資料	<p>資料1 県内及び学校における感染状況について 資料2 対面授業の再開に向けた取組について 資料3 学校における感染防止対策について 資料4 学校で児童生徒等や教職員の新型コロナウイルスの感染が確認された場合の対応ガイドラインについて</p> <p>参考資料1 感染予防ガイド（リーフレット2種類） 参考資料2 新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言等を踏まえた小学校、中学校及び高等学校等における新型コロナウイルス感染症への対応に関する留意事項について（令和3年8月25日）</p>

議事概要

- ・ 高校3年生の授業再開については、これまで示してきた「マスクの着用」「入退室時の手指消毒」「サーキュレーター等を活用した換気・エアロゾルの室外への排気」「体調管理の徹底」等の感染症対策を継続して行い、感染対策の隙を作らないようにしていけば、通常人数での対面授業も可能。
- ・ 就職や推薦入試、定期考査等に向けて、高校3年生の対面授業の再開を進めてほしい。再開に向けては、今まで以上に感染症対策を徹底し、授業中に限らず学校内外の過ごし方に対しても注意喚起をしていきたい。

- ・ 9月末には期末考査が始まるため、試験日をずらすなどの工夫を各学校で実施していきたい。1、2年生はオンライン授業だが、今のところ大きな問題は報告されていない。ただし、オンライン授業のみでテストに臨むことに対して不安を抱える生徒もいるため、テスト前の何日かは対面授業を行いたい。
- ・ 小中学校では、「サーキュレーターの利用」「不織布のマスクの配布」「黙食」「オンライン授業」など、あらゆる対策を講じて分散登校等を実施している。
- ・ マスクを着用しない、お互い着用しないことは、感染症対策の観点から考えると感染リスクが高いので、対面では少なくとも一方はマスクを着用してほしい。
- ・ 子供たちは真面目に学校の約束を守っている。小中学校では、子供達の命を守りつつ学びを止めないという共通のスタンスで取り組んでいる。通学区域の環境、ICT等の整備状況、習熟度などに地域差があるため、市町村によって、新学期を遅らせたり、分散登校を行ったり、オンライン授業を行ったりと対応は多種多様である。現実的には、無症状の子供も想定されるので、感染対策をさらに徹底するべきだと感じている。
- ・ 教室内においては先生の見守りがあり、マスク着用、手指消毒など基本的な感染防止対策をしっかりと行っていれば、対面授業そのものはリスクが高いとは思わない。しかし、合唱や楽器演奏など、マスクを着用しない活動には対策の徹底が必要となる。
- ・ 幼稚園児の感染者数は、これまでの第1波から第4波までの合計が31人であったが、第5波の8月に入ってから35人となっており、感染が増えている。大半が家庭内感染であり、クラスターはない。
- ・ 輪之内町では、今週から通常授業としている。町民からはいろいろな意見があるが、対面授業ができる環境が整っているのであれば、対面授業を実施していきたい。
- ・ 中津川市では、全校で対面授業を実施している。学級閉鎖の事例もあったが、混乱なく落ち着いて登校している。感染症への不安により登校を控えている事例は少ない印象。
- ・ 岐阜市内の中学校で実施している対面・オンラインのハイブリッド型授業に対する中学生の意見は、肯定意見が7～8割程度あり、苦痛に感じている生徒は少ない。
- ・ 行事、課外活動、就業体験等が原則延期又は中止となっているが、就業体験を重要なカリキュラムに位置付けている学校もあるが、どう対応しているのか。
→ 行事、課外活動、就業体験等については、原則としており、生徒の将来に直結する就業体験を止めるつもりはない。
- ・ 第4波までは、感染者数が200人を超えている中で生徒を登校させてはいなかった。来週から、高校3年生を登校させることに、緊張感をもって対応していく必要がある。
- ・ 高校1、2年生のオンライン授業は3週間目に入るので、オンライン授業の質を高める必要があると考える。感染者数が落ち着いてれば、徐々に対面授業を再開していこうと考えている。
- ・ 授業形態で、個人で学習する時間の活用、課題の提示の工夫などが考えられるが、実践の中で得られたノウハウを共有できるとよい。
- ・ 本日も議論いただいた対面授業再開に向けた取組、感染防止対策の徹底をしっかりと進めていく。原理原則として考えることと、実情に応じて考えることがある。12日までは緊急事態宣言の対象となっているが、おそらく緊急事態宣言は延長となる。状況に応じながら見直すことも必要。アフターコロナについても、積極的に考え、議論していきたい。